

2022年5月19日、Twitterはウクライナ情勢を受け、これに関する誤解を招く情報を減らす目的から、緊急時、危機的な状況における誤情報に対応する、新たなポリシー*を制定。

上記ポリシーに抵触するコンテンツについて、拡散・推奨を行わないほか、政府および国家当局関係メディア等のアカウント等からのツイートや非常に人気を集めているツイートには、優先的に警告を表示。

* <https://help.twitter.com/ja/rules-and-policies/crisis-misinformation>

上記ポリシーに基づき、以下に示すような誤解を招くコンテンツがオフラインでの被害を拡大する恐れがある場合、強制措置**を講じる。

- ① 虚偽の報道や出来事の報告、または紛争の進展に伴う現地の状況を誤って伝える情報
- ② 武力行使、領土侵略、武器使用に関する虚偽の主張
- ③ 特定の集団に対する戦争犯罪や大量虐殺に関する明らかに虚偽または誤解を招くような主張
- ④ 国際社会の反応、制裁、防衛措置、または人道的活動に関する虚偽の情報

**違反コンテンツには警告文が表示され、そのツイートを表示するには警告文をクリックする必要がある。そのコンテンツが拡散・推奨されることはなく、「いいね」「リツイート」「共有」は無効となり、Twitterの取り組みの詳細情報へのリンクが表示される。繰り返し違反した場合は、ストライク制によりさらなる強制措置が必要か判断される。

(参考: https://blog.twitter.com/ja_jp/topics/company/2022/2022_introducing-our-crisis-misinformation-policy)